

平成30年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

鳥取県建設業青年部交流会

事業等の名称	① アスファルト舗装の施工体験実習
<p>1. 実施時期 平成30年6月18日（1日目：出前講座・測量丁張） 平成30年6月25日（2日目：舗装実習）</p> <p>2. 実施場所 鳥取県立倉吉農業高等学校</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数） 倉吉農業高等学校環境課 3年生13名 鳥取県人材育成センター土木システム課 4名</p> <p>4. 共催・単独等の状況 単独開催（鳥取県建設業魅力発信事業費補助金の活用）</p> <p>5. 事業等の内容 次世代の建設業を担う高校生及び訓練生を対象にアスファルト舗装についての出前講座と施工体験する事業を2日間にわたっておこなった。1日目の出前講座では建設業協会青年部の土木技術者がアスファルト舗装について、測量・丁張について、施工体験する際の作業手順についての説明をした。その後、技術者に指導を受けながら現場（学校からの指示された校内のアスファルト舗装未整備区間）の測量と丁張の設置をした。2日目の施工体験実習では舗装工事（人力施工箇所）を青年部の指導のもと、路盤～表層を生徒達の手によって施工した。また機械施工の箇所は当会員の舗装班が施工し、機械施工の説明をしながら職人の技を見てもらった。</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果）</p> <ul style="list-style-type: none">・就職活動を控えた高校3年生及び先生に、職人の技術やチームワークをもって目的を成し遂げる仕事人の姿を見てもらう事で建設業の職業としての信用を高める事ができたと思う。・生徒が測量・丁張設置をおこない実際の工事と同じ手順で施工することで実際の工事現場や働く環境がイメージできたのではないと思う。・高校生・訓練生とコミュニケーションをとりながら実習する中で、建設業の魅力や仕事のやりがいを直接発信できたという事と、お互い普段の生活などを気さくに会話が出来て距離が縮まった。 <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <ul style="list-style-type: none">・今回の事業は平成30年度鳥取県建設業魅力発信事業費補助金を活用しておこなったが、青年部単独の予算では事業をおこなう事が難しい為、今後も継続し予算を考えていただきたい。	



6月26日 日本海新聞

合吉農高生1人
人力補に挑戦

アスファルト

合吉農高の環境対策
舗装工の経験

11人が必死、同級生ア
スファルト舗装実習を

行った、体験を通じて
建設業の技術を学び、
もろもろの一端に勉
めた。

建設業への関心を高
めることが狙い
で、毎年行われている
中央建設業協会青森支部
舗装工実習の一角を

阿比留が指揮に訪れた。
専修立地青森人材育成
センター合吉農高オアシ
システム科の制覇生も参
加した。

生徒らは、同校の園
芸実習実習人口道路の
アスファルト舗装の機

械工の機手を指導し、
道路の取り付け部
分の人力補に挑戦。
施工箇所には既にア
スファルト自体をロー
ンを併せてアスファルト
が使用されてきたら
したため、機械を使って
転圧し、地面を締め固
めようとした。

青森建設の志川由香
さん(19)は、「こまごまの
作業は苦しいが、こまご
まに丁寧な指導がありが
たかった」と語った。

阿比留は「一生懸命、
手を動かすだけで、その
分だけ成長を感じてほ
しい」と期待を込めた。

(加藤伸也)

機械を使ってアスファルトを補給の国
める生徒は25日、合吉市の合吉農高

平成30年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組概要

機関・団体等の名称

鳥取県建設業青年部交流会

事業等の名称	② 建設機械を見てさわって体験してみよう
<p>1. 実施時期 平成30年11月23日</p> <p>2. 実施場所 国道181号線バイパス（開通イベントにおいて）</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数） 園児、児童及び保護者 約100名</p> <p>4. 共催・単独等の状況 単独開催（鳥取県建設業魅力発信事業費補助金の活用）</p> <p>5. 事業等の内容 建設機械（ミニBH・高所作業車）の使用目的を説明し、作業の実演をした後、乗車体験をおこなった。</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果）</p> <ul style="list-style-type: none">・開通イベントの数あるブースの中でも参加者が多かった。・ミニBH2台、高所作業車2台を準備したが、常時稼働しており盛況であった。・ほぼ全ての子供・保護者が乗車初体験であり、建設機械を動かす楽しさやすごさを感じ、思い出に残る事業であったとともに、保護者の方にも建設業の魅力を発信できたと思っている。 <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <ul style="list-style-type: none">・鳥取県から開通イベント参加の依頼があり、今回の事業に至った。多くの参加者が集まるイベントは効果も大きいことから今後もこのようなイベントに積極的に参加していきたい。	

